

《総説》

核医学の現状と展望

鳥塚莞爾*

* 京都大学，福井医科大学 名誉教授

要旨 核医学は新しい放射性医薬品(RI)の登場，核医学機器の改良，信頼性の高い定量化・客観化，疾患・病態解明への新しい試みの4本柱により発展してきた．今後もこの4本柱により発展して行くものと考えられ，治療に直結した情報を提供する核医学診断法およびRI内用療法の更なる発展が期待される．

(核医学 36: 65-70, 1999)